

JSAF 外洋東海第 108 回理事会・第 60 回代議員会議事録

1.開催日時 2026 年 6 月 26 日（金）午後 7 時 00 分～8 時 45 分

2.開催場所 Zoom によるオンライン会議

3.出席理事及び代議員

<理事会>

（本人出席）

大島茂樹、坂谷定生、川合紀行、岩瀬喜貞、三浦信郎、水越英次、大橋哲二
結城光広、安藤充彦

（委任状出席）

水谷節生、加藤利基、林 泰成、坂倉純二、奥田義明

定足数 10 出席数 14（成立）

<代議員会>

（本人出席）

坂口龍哉、坂本欽吾、永井守久、三浦桂子

（委任状出席）

安井 理、岡 吉樹

定足数 5 出席数 6（成立）

（オブザーバー）

富川則之（監事）

4.議事内容

定刻になったので、大島会長議長となり理事会・代議員会の開会を宣す。

会長挨拶の後、議事録署名人として、川合紀行、坂口龍哉の両氏を指名後議事に入る。

1) 2024 年度事業報告及び収支決算について

2) 外洋東海友の会収支決算について

会長命により坂谷専務理事から資料 1～4 に基づき説明があった。

資料 1 では本年度開催した 6 レースの日程、参加艇数などについて、また年間を通じての各委員会の活動実績について説明があった。

資料 2 では本年度の収支状況についての説明があった。内容はおおむね次の通りであった。

パールを除くレース事業については、2,282,500 円の収入に対し 2,456,949 円の支出で

174,449 円の赤字。その他のレース関連費は収入が 150,000 円、支出は 2,346,605 円となり

2,196,605 円の赤字となっていては、この大きな要因は今年度になってレースのリ

ミットマークに使用している自走式のブイ（1,800,000 円）の購入にある。パールレース特

別会計(資料:3)については、66 回大会が 79,167 円の赤字となったため、留保金は 687,783

円となっている。計測、安全、海事普及の事業では 184,000 円の収入に対し、515,000 円

の支出で 331,000 円の赤字（年末パーティーでの支出が影響）となった。

会費等の収入は 1,298,347 円で、友の会からの 2,000,000 円の繰入金を含め、3,298,347 円

の収入に対し、支出は、事務局管理費をはじめとする会の運営関係費用は 2,015,302 円と

なった。昨年からの繰越金が 1,459,710 円あるので、総収入は 7,374,557 円、これに対し総支出は 7,333,856 円となり、次年度への繰越金は 40,701 円となった。

友の会資金については、次に資料 4 に示すように、本会計に 2,000,000 円支出したことにより、2026 年 3 月末の残高は 20,173,268 円となっている。

以上説明があった後、会長命により 6 月 17 日実施の会計監査結果について富川監事から報告があった。

これを受けて大島会長から議案 1, 2 について、理事会に対し異議の有無を尋ねたところ、全員異議なく了承されたので、この議案を代議員会に上程し、審議を願った。

審議後、会長から代議員会に諮ったところ、全員異議なく 2025 年度事業実績及び収支決算は承認された。友の会の決算については、ハガキ送付による総会承認によります。

3) 沖縄-東海ヨットレース 2026 の会計報告について

坂谷専務理事から沖縄-東海ヨットレース 2026 の資料に基づき説明があった。

参加艇は 5 艇で、収入は 2,590,000 円、支出は 2,644,332 円で、54,332 円の赤字決算となった。説明後大島会長から今回 5 艇まで減ってしまったが、今後も続けていきたい旨の発言があった。

4) JSAF 関係報告について

会長から岩瀬理事に JSAF の近況について説明を求めたところ、以下の説明があった。

今回理事改選がありましたが、私は水域理事を退任します。また、今回から選挙ではなく役員選考委員会を設置し立候補者を審査、決定するという形となり、水域理事というものはなくなりました。

坂谷専務理事からは補足があり、これまで 32 名だった理事が 18 名になった。また、新理事これまでと違って多数ある委員会とかプロジェクトに関わるように義務付けられた。

役員の互選の結果は、会長は引き続き馬場氏、副会長には外洋系で船澤氏と平井が就任し、平井氏が外洋常任委員長となった。今後は平井氏を中心に外洋は活動していくことになると思われる。外洋系にとっては外洋加盟団体の活動も含め、特に変化はないと思われる。

4) 委員会報告

・安全委員会

坂谷専務理事から安全に関わることなので前置きがあって、先般の武豊・津合同レースでの座礁について報告があった。パールレースのスタートがラグナマリーナ沖に変更となったので、師崎漁協へ会長と説明に行ったところ、日間賀島漁協の組合長が同席しており、座礁したにもかかわらず連絡もなかったとお叱りを受けた。漁業権の問題は理解しにくいと思うが、座礁したことにより漁場を荒し、水産資源に損害を与えたといえる事例だ。

これは正当な言い分なので、今後同じようなことがあったら、関係漁協に対し直ちに連絡して断りをするのが問題を大きくしない解決策だ。との報告があった。

川合委員長から、外洋特別規定 2026、2027 の日本語版が発売されたので、ご希望の方は外洋安全委員会のホームページから入り、5 月 14 日のお知らせに日本語版の発売という項目があるので、そこから申し込んでくださいとの報告があった（1 冊 4,000 円）。

- ・計測委員会

今年は昨年に比べ IRC の取得定数が増えている。パールレースのスタートがラグナマリーナ沖に変わったことで、新艇もあるがパールに出たいというのもあってか現在で外洋東海だけで 25 艇あるので、今年のパールは少し増えるのではと予測している。

以上全議事終了したので、20 時 45 分大島会長閉会を宣す。

作成者 坂谷定生

議事録署名人 川合紀行
 坂口龍哉